

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年02月18日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2026年02月02日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	ハンガリー
留学先大学	エドヴェシュローランド大学(日本語名) Eötvös Loránd University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ハンガリー語/英語
留学期間	2025年9月～2026年2月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 社会科学部 現地言語での名称: Social Science <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 2月上旬～6月下旬 2 学期: 9月上旬～1月下旬 3 学期: 4 学期:
学生数	約 38000 人
創立年	1635 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (HUF) (1 現地通貨 = 約 0.48 円)	B 日本円	備考
授業料	0	円	交換留学のため
宿舍費		63 万円	私設の寮のため
食費	42 万	円	
図書費		0 円	図書館利用
学用品費		0 円	日本から持ち込み
携帯・インターネット費	4 万	円	
現地交通費	2.2 万	円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1.5 万	円	
旅費(留学中)		70 万円	9 か国分
被服費	14.5 万	円	
医療費		円	
保険費		6.6730 円	形態: 東京海上日動
渡航旅費		21 万円	エミレーツ航空、中国東方航空
ビザ申請費		円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	64.2 万 (=31 万円)	140 万円	
総計(A+B) ※円		171 万円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：東京 目的地：ハンガリー 経由地：ドバイ

復路 出発地：ハンガリー 目的地：東京 経由地：上海

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社： エミレーツ航空 料金： 13.9 万円

復路 航空会社： 中国東方航空 料金： 7.1 万円 ∴合計： 21 万円

航空券購入方法

旅行代理店(店名：)

インターネット(サイト名： google flight)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前： Moricz Student living) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 2)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学の HP

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

条件が悪いうえに相場よりも価格が高い。住民同士のトラブルが毎日起り盗難も日常的。管理会社は対応が悪く、管理人も英語を話せないうえ勤務時間中に飲酒をするため他の住宅を探すことをお勧めする。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

危険地域は特になし。様子の可笑しい人やホームレスは多く存在するため近寄らないことを意識。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

問題なし。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

wise という海外決済手数料が安いカードを発行し、日本の銀行口座から資金を利用。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

だし、簡易炊飯器。アジアスーパーもあるため高いお金を出すことをためらわなければ困らないがただだけは本当に見つからない。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
25 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 未定単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Anthropological Theories and Methods 1	
科目設置学部・研究科	社会学部
履修期間	秋学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Csaba Prónai Dr.
授業内容	人類学の歴史、実際の研究での応用方法
試験・課題等	毎週のエッセイ、授業での発言、グループでの期末レポート
感想を自由記入	毎週教授が指定する 20 ページ程度の論文を 5 つ読み、自分の考えを提出することが求められるため最もハードな授業であった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Contemporary Challenges for the Society	
科目設置学部・研究科	社会学部
履修期間	秋学期間
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Csaba Prónai Dr.
授業内容	現代のヨーロッパ社会をの政治的、歴史的、社会科学的、地理的枠組みから精査していく
試験・課題等	ファイナルエッセイ
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Globalization and migration	
科目設置学部・研究科	社会学部
履修期間	秋学期間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Antal István Örkény
授業内容	移民と難民の定義、ヨーロッパ内における移民の流動性、国の政策
試験・課題等	筆記型の中間試験、期末試験、グループエッセイ、グループプレゼンテーション
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Sociology 1.	
科目設置学部・研究科	社会学部
履修期間	秋学期間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Veronika Szabari
授業内容	ミクロとマクロの社会科学の大きな枠組みを理解し、社会現象について分析する
試験・課題等	ミニテスト、期末テスト
感想を自由記入	テストは選択制であるため勉強をすれば難しくない。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Skills in minority policy	
科目設置学部・研究科	社会学部
履修期間	秋学期間
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Titanilla Judit Fiáth
授業内容	老人ホームやホームレスのシェルターでのボランティアを通じて、非政治団体がハンガリーでどのような活動を行っているか経験する
試験・課題等	体験レポート
感想を自由記入	教授が授業を休みがちかつ休講連絡をしない

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Social psychology of inter-group relations	
科目設置学部・研究科	社会学部
履修期間	秋学期間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Miklós Szabó Dr.
授業内容	人が自分をどう理解し他者や他集団をどう評価し、どのように感情や原因帰属を行うかを社会心理学の基本概念を通して学ぶ
試験・課題等	ファイナルエッセイ
感想を自由記入	教授の比喩が面白い

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	選考
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	ビザ申請、航空券購入
	8月～9月	滞在先確保、渡航
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	期末試験、帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留學生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

ハンガリーを選んだ理由

生活面・経済面ではヨーロッパの中でも比較的治安が良いうえ、独自の通貨を使用していることで円安の中でも物価は安い。興味関心では、中央ヨーロッパに関するニュースを見る機会が少なく、知見を広げる良い機会だと思ったため。

→ヨーロッパのなかでも最も物価が低いといえるくらいには他国に比べて物価が安い、外食は高くつく。ただ、野菜はグラム単位で買えることから一人暮らしにちょうどいい量の食料が手に入るうえ日本よりも価格が低いので自炊だけで生活できた場合は日本より安く一人暮らしができる。深夜でも路面電車やバスは常時運航されており定期券のようなものを持っていればハンガリー国内を交通機関関係なく移動し放題であるため非常に交通の便が良い。ただ、学生定期券を買っている場合学生証の携帯が義務付けられており、抜き打ちの検査で持っていないことが判明すると罰金が取られるため気を付ける必要がある。

エドヴェシュローランド大学を選んだ理由

ハンガリーの協定校は一つであるため選択肢がなかったため。また、首都ブダペストにあることから利便性も悪くないと考えたため。

留學生生活全般について

寮に入れば自然と友達ができるため、最初の一学期は一人暮らしではなく寮で生活することをおすすめしたい。関わるであろう留學生はヨーロッパ圏の人が多く、遊びに出かける場所としてクラブが一般的であることからためらってしまうことがあると思うが無理なハラスメントをしてくる人は少ないため身構える必要はない。ただ、ドイツやスペインでクラブに行った友人はパスポートなど重要なものを盗まれたり、クラブで薬物をきめている人を多数目撃した経験があるため旅行する際や十分に気を付けてほしい。また、留学先では日本人とは関わらないなど気負う必要はない。日本人の友人が新しい友人を紹介してくれることや授業面・生活面共に助けてくれる機会が多く日本人のコミュニティーや友人を作ることが心の支えとなる。

ハンガリーはアゼルバイジャンやトルコの学生から人気な留学先の一つであるため、イスラム教徒に出会える機会が多いことや一時期オスマン帝国に支配を受けていた名残が見られるためイスラムを国教にしていない国のイスラム的価値観を学べる良い機会を作れる。イスラム教に興味はあるが、世界情勢の影響から中東に留学することを危惧している学生にもハンガリーをお勧めしたい。